



佐竹典明議員 新型インフルエンザ対策は

町長 優先順位に従いワクチン接種を実施

■ 新型インフルエンザ 重症化への対策は

佐竹 今、町内でも新型インフルエンザがまん延しています。その数が増えれば重症化する人が出る可能性があります。ですが、どのような対策を考えているか伺います。

町長 重症化を防ぐ対策は、ワクチンだけでなく抗インフルエンザ薬も有効といわれており、ワクチン接種前の感染にも早期投与で開始するよう要請しています。今後、医療機関と連携をはかりながら状況を注視していきます。

■ 優先接種者は

佐竹 町民生活を守るためにも、優先接種対象者を医療従事者だけでなく保健師など、直接町民に接する町民窓口、病院窓口、福祉関係者などに広げるべきと思うかがですか。

町長 直接町民と接する職員や感染予防に当たる保健師は、優先接種対象者に

なっています。

優先接種が終了次第、その後の状況やワクチンの供給量などもふまえて、国からスケジュールが示されます。それまでは健康管理や感染予防を周知徹底していきます。

■ 短期被保険者証の発行は

佐竹 国民健康保険の資格証明書が交付されている世帯の新型インフルエンザ感染が疑われています。経済的な理由で10割の医療費が払えない場合、町は直ちに短期被保険者証を発行するのか伺います。

町長 医療費の一時払いが困難である旨の申し出があった場合、緊急的な対応として短期被保険者証を発行し対処します。

現在本町には、資格証明書の発行世帯はありません。

■ 保育所の最低基準は

佐竹 現政権は、保育所の子供一人当たり面積の最低基準引き下げを認められています。この最低基準は2才以下の子供一人当たり畳1枚分で、家具・寝具も置かれ、子供がのびのび過ごせる環境にありますか。このことを町長はどう思われますか。

町長 町内保育所の現状は、総じて十分な面積を確保し体制が整備されています。面積基準の後退は都市部の一部に限る措置であり、待機児童解消を早期にはかる方策と認識しています。



のびのびできる環境のなかで